



成田国際空港密輸概況【平成 27 年】

【最近の密輸情勢等】

◎覚醒剤密輸の動向

成田税関支署において摘発した覚醒剤密輸入事件は、摘発件数は 18 件、押収量は 80 キロであった。

隠匿手口としては、ボンベや化粧箱、お茶袋等に偽装した巧妙なものがあつた。

密輸形態は貨物にシフトしている状況も窺われる。

成田空港管内での最大押収量は航空貨物による 44 キロ（全押収量の約半分）

東京税関管内においても商業貨物によるものが 217 キロ中 149 キロであつた

◎その他の薬物密輸の動向

【大麻】

大麻密輸入事件は、摘発件数は 15 件と昨年と同水準、押収量は 1 キロと減少。

一方で、大麻の薬効成分である THC を高濃度に濃縮した新たな大麻製品（ペースト状）の摘発があつた。

【麻薬】

麻薬密輸入事件は、摘発件数 8 件、押収量 22 キロと共に増加。

大口のコカインの摘発（18 キロ）があり、押収量の増加となっている。

【指定薬物】

指定薬物密輸入事件は、摘発件数 2 件、押収量 48 グラムであつた。

いずれも「RUSH」と呼ばれる亜硝酸エステル系の薬物であつた。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
							前年比
覚醒剤	件数	116	71	82	83	18	21.7%
	数量(kg)	209	171	269	181	80	44.2%
	数量(千錠)	-	0	0	-	-	-
大麻 (樹脂含む)	件数	25	31	8	13	15	115.4%
	数量(kg)	22	109	2	45	1	1.5%
あへん	件数	1	0	1	0	0	-
	数量(kg)	0	-	0	-	-	-
麻薬	件数	8	13	66	5	8	160.0%
	数量(千点)	0	0	0	-	-	-
	数量(kg)	28	1	1	2	22	11倍
ヘロイン	件数	2	0	1	1	0	全減
	数量(kg)	1	-	1	0	0	59倍
コカイン	件数	2	2	2	1	1	100.0%
	数量(kg)	24	1	0	2	18	937.8%
MDMA	件数	2	1	1	0	0	-
	数量(千錠)	0	-	0	-	-	-
	数量(kg)	2	0	-	0	-	全減
その他麻薬	件数	2	10	62	3	7	233.3%
	数量(千点)	0	0	-	-	-	-
	数量(kg)	1	0	0	0	4	166倍
向精神薬	件数	1	7	0	0	0	-
	数量(千錠)	1	1	-	-	-	-
	数量(kg)	-	-	-	-	0	全増
指定薬物	件数					2	全増
	数量(kg)					0	全増
合計	件数	151	122	157	101	43	42.6%
	数量(kg)	260	281	272	228	103	45.1%
	数量(千点)	1	2	0	-	-	-
銃砲類	件数	0	0	0	0	0	-
	数量(丁)	0	0	0	0	0	-
総摘発件数		151	122	157	101	43	42.6%

* 1. 1件の摘発で犯則物件が複数の場合は、件数は主たる事犯に、数量はそれぞれの欄に計上した。

また、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。

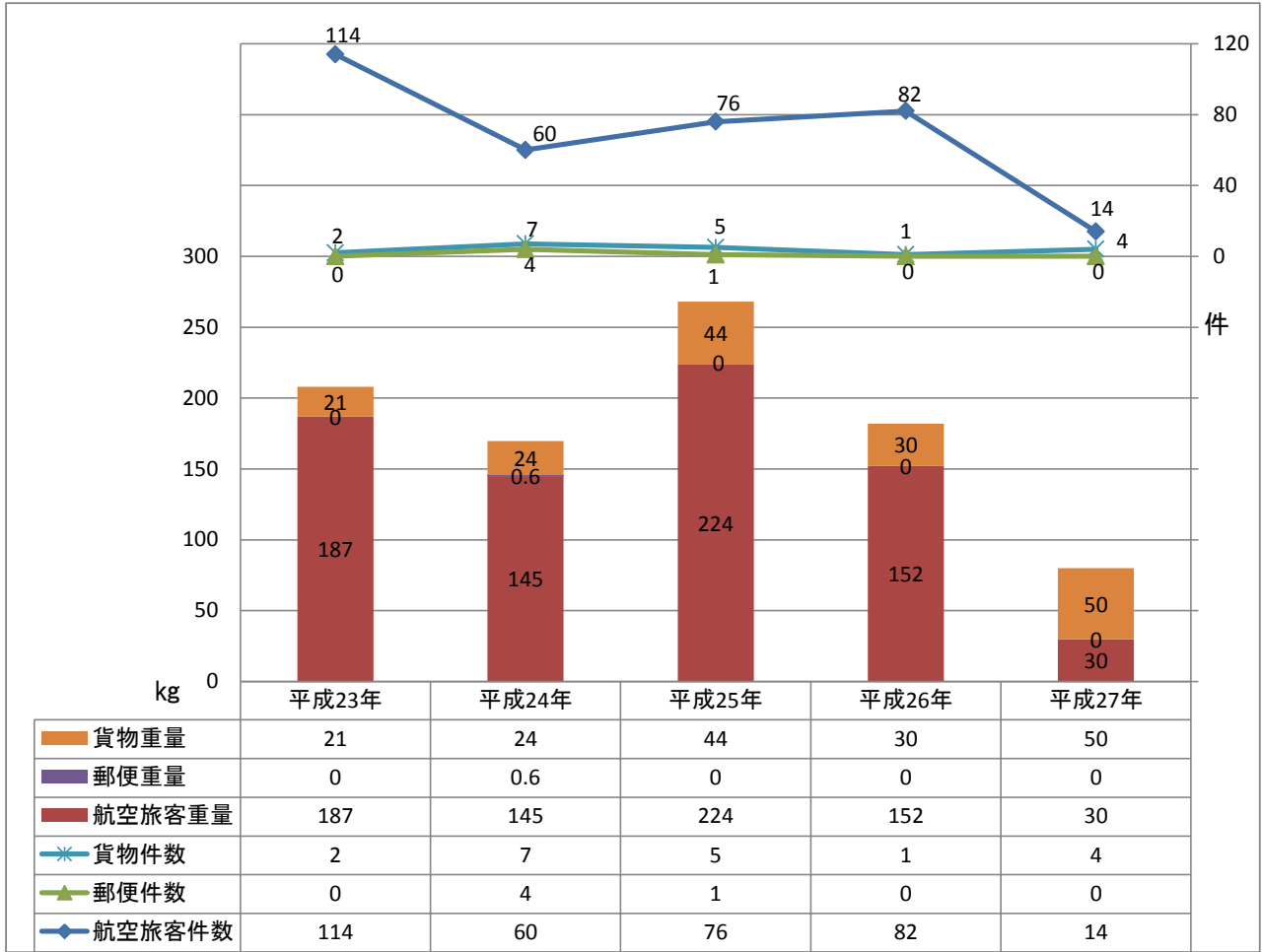
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。

3. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。

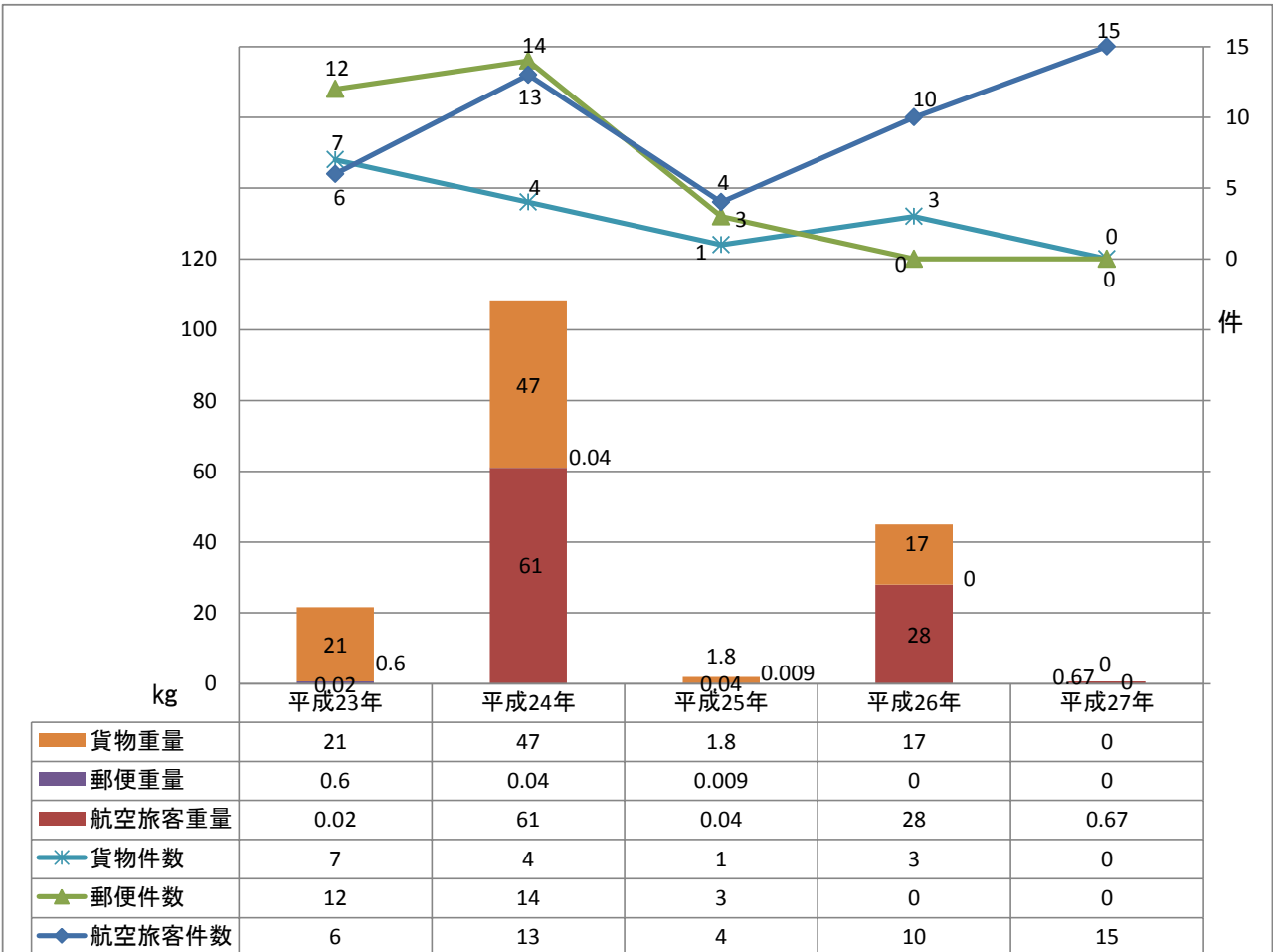
4. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。

また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別覚醒剤摘発状況(推移)

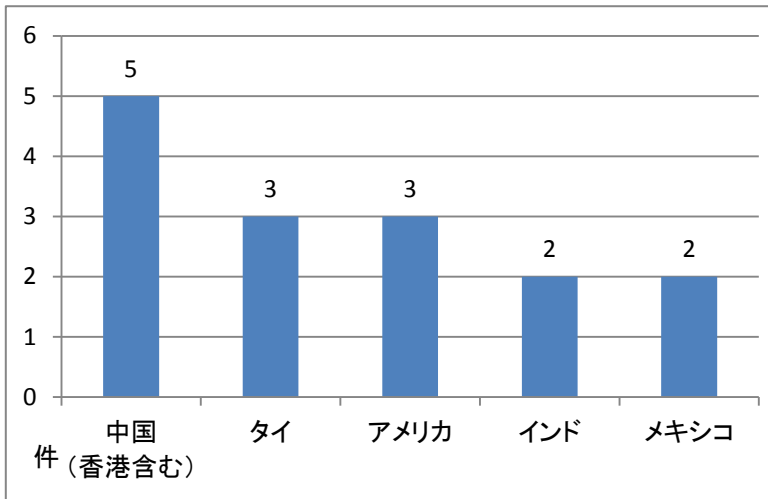


3. 形態別大麻摘発状況(大麻樹脂含む)



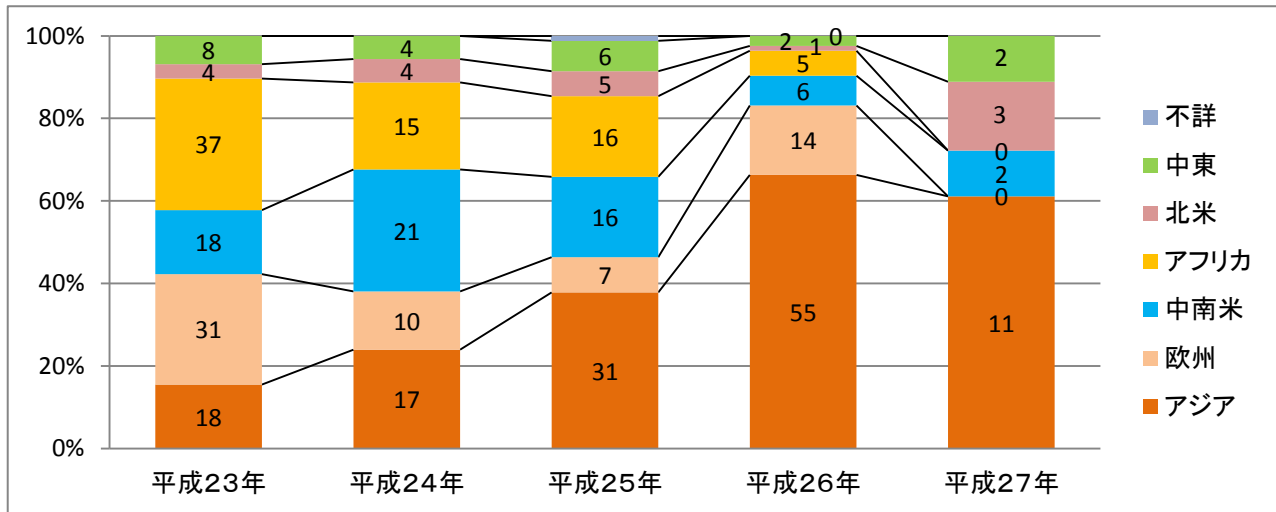
4. 覚醒剤の仕出別摘発状況

●平成27年仕出地別摘発上位

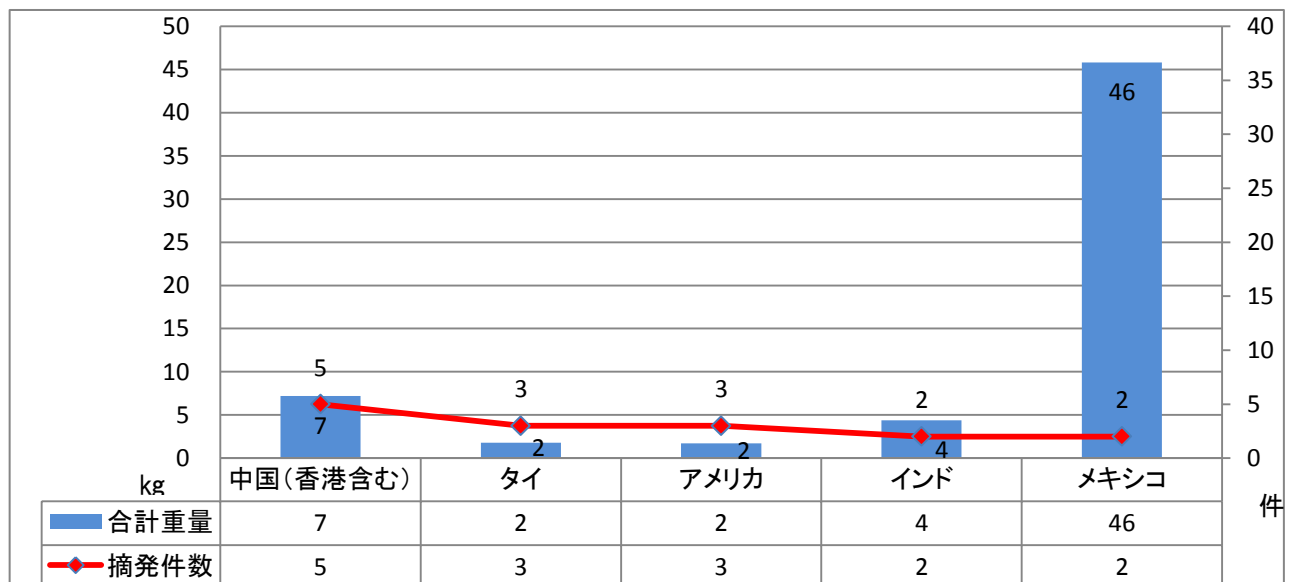


地域	国	件数
アジア (11)	中国	5
	(中国)	(3)
	(香港)	(2)
	タイ	3
	インド	2
	台湾	1
北米 (3)	アメリカ	3
中南米 (2)	メキシコ	2
中東 (2)	イラン	1
	トルコ	1
合計		18件

●仕出地域(推移)

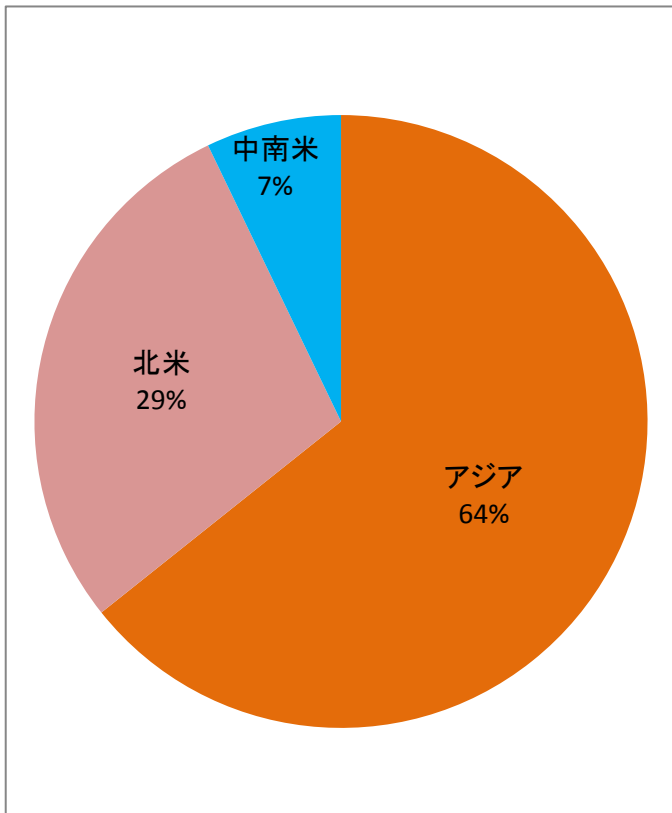


●仕出別押収重量(摘発件数上位)



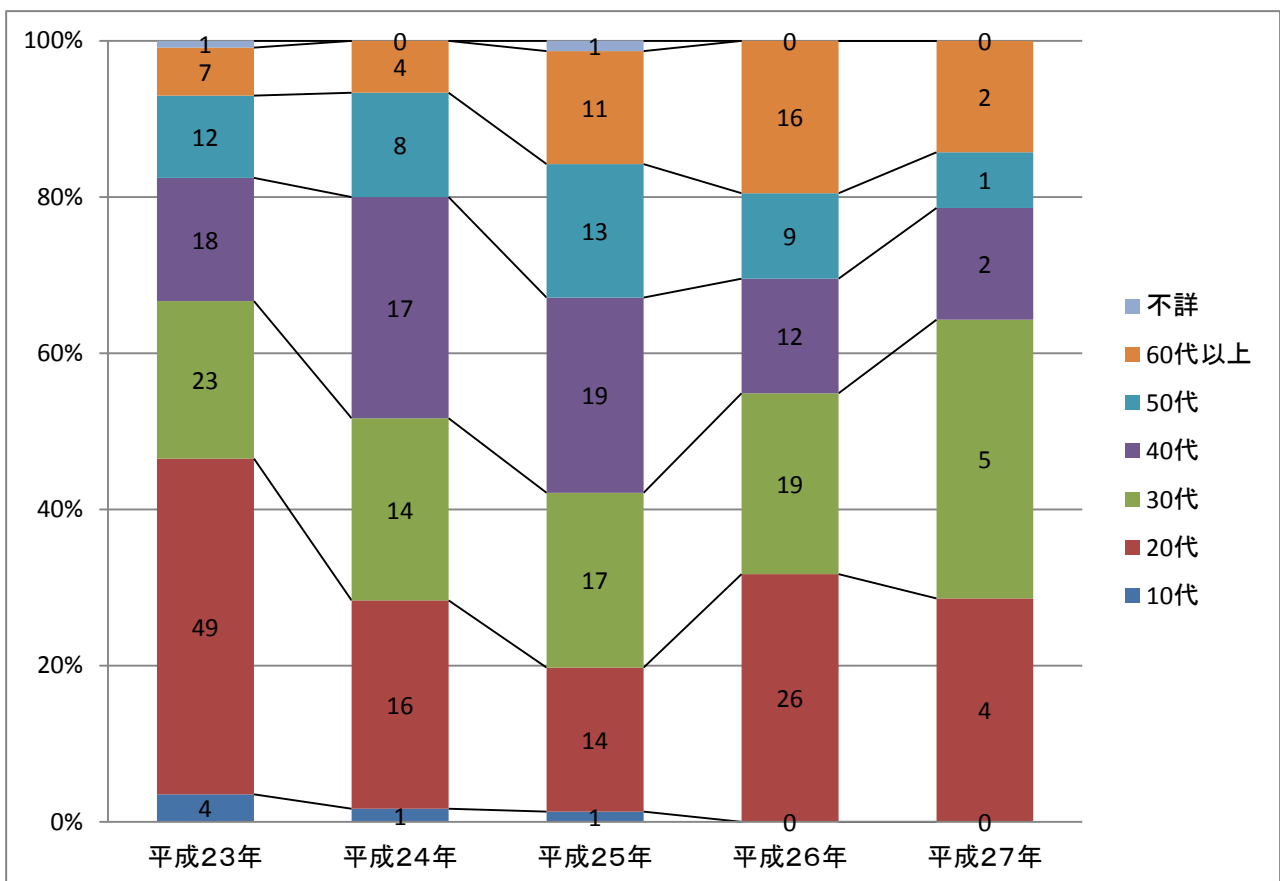
5. 平成27年覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

●国籍別摘発状況

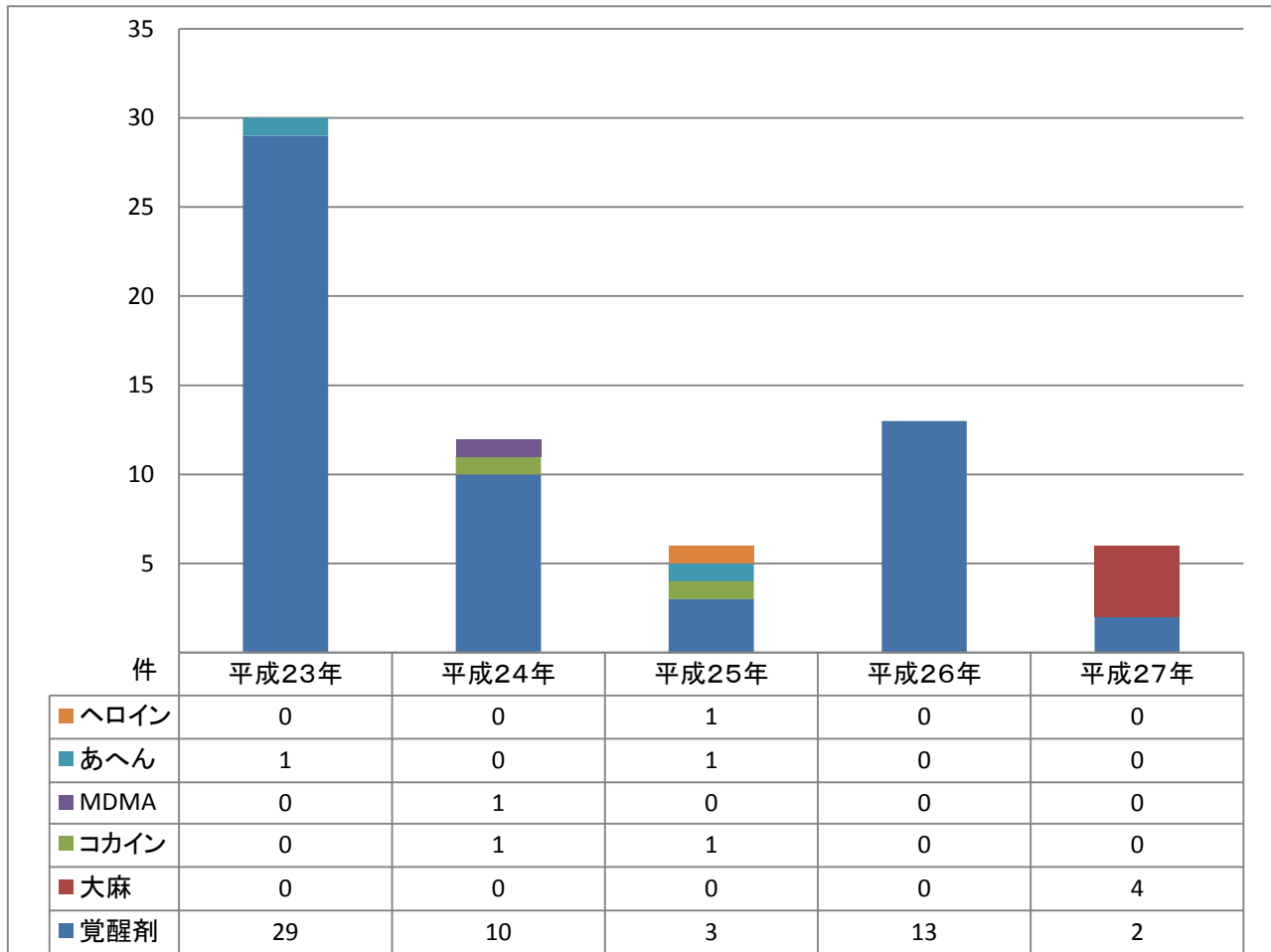


地域	国籍	人数
アジア (9)	台湾	4
	日本	2
	タイ	2
	中国(香港含む)	1
北米 (4)	アメリカ	3
	カナダ	1
中南米 (1)	メキシコ	1
合計		14名

●年代別摘発状況



6. 体内(嚙下・体腔内)隠匿摘発件数



注1) 平成25年「コカイン」1件は「大麻樹脂」も併せて嚙下隠匿

「覚醒剤」3件はいずれも体腔内隠匿

注2) 平成26年「覚醒剤」13件の内7件は体腔内隠匿

注3) 平成27年「覚醒剤」2件はいずれも体腔内隠匿

平成27年隠匿手口事例

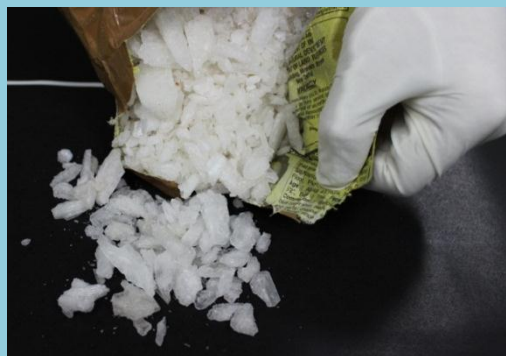
【事例1】身辺隠匿による覚醒剤密輸入事件

3月、中国香港から到着した香港人男性が自身の着用ベスト及びサポーターに隠匿されていた覚醒剤約2キロを摘発。



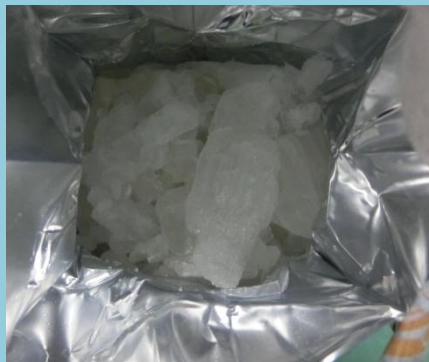
【事例2】化粧箱等に隠匿した覚醒剤密輸入事件

11月、インドから到着したアメリカ人女性が所持していた化粧箱等に隠匿されていた覚醒剤約3キロを摘発。



【事例3】お茶袋に隠匿した覚醒剤密輸入事件

12月、台湾から到着した台湾人男性が携行のスーツケース及びリュックサックに収納されたお茶袋に隠匿された覚醒剤約15キロを摘発。



【事例4】様々な形の大麻密輸入事件

9月、アメリカ人男性が自身の着用ズボンポケット及びリュックサック内に隠匿

10月、アメリカ人男性が携行リュックサック内に隠匿



【事例5】段ボール箱に隠匿したコカイン密輸入事件

11月、ブラジルから到着したブラジル人2名が段ボール箱（携行スーツケースに収納）に隠匿されたコカイン約18キロを摘発。



【事例6】鉄製タンクに隠匿した覚醒剤密輸入事件

3月、メキシコ来航空貨物である鉄製タンク5本内に覚醒剤約44キロ摘発。



貨物による摘発事例

横浜税関における摘発



大型貨物による摘発



スノーグローブ内に隠匿



チョコレートケーキ内に隠匿

